

放送による全校集会（校長メッセージ）

1 緊急事態宣言に伴う休校について

- ・皆さんこんにちは。校長の郡司です。明日からの臨時休業にあたり私から少し長く話をします。良く聞いてください。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の勢いは留まることを知らず、昨日の正午時点で全世界の感染者数は、230万人、死者は16万人。日本の感染者数は、10,361人、死者は161人です。
- ・しかし、先週出された厚生労働省の予測では、何の対策も行わなかった場合、日本では重篤患者が85万人になり、死者はその半数の42万人になる見込みとなっており、引き続き、人との接触を8割減らすなど、最大限の注意と対策が必要な状況です。
- ・このため政府では、13都道府県を特定警戒地域として、緊急事態宣言を全ての都道府県に拡大し、福島県も先週緊急事態宣言を発令しました。
- ・これを受け、光南高校では、明日からゴールデンウィーク明けの5月6日まで臨時休業とし、部活動も中止とします。
- ・皆さんご存じのとおり、緊急事態宣言の目的は、命を守ること、自分はもちろん、家族やこの地域をウイルスから守ること、感染拡大を防ぐことです。自宅学習を原則とし、高校生として、自分にできることをしっかり考えて行動してください。

2 新型コロナウイルスの影響について

- ・しかし、新型コロナウイルス感染拡大と、それを阻止すべく発令された緊急事態宣言は、多くの人々に大きな影響を与えています。
- ・それは、国民の行動制限や飲食業を中心とする営業自粛による企業等の損失、感染患者の検査や治療を行う医療体制不足、医療従事者への院内感染の懸念などです。
- ・皆さんのご家族の中にも、多大なる損害や仕事へのリスクなどを被っている方も多くおられ、皆さん自身も不安に思っていることでしょう。
- ・そして、皆さんに身近な影響としては、学校の休校はもちろん、先週決まった県の高校総体と春季野球大会など、様々なイベントの中止です。
- ・1年生にとっては、期待に胸を膨らませて光南高校に入学し、部活動登録も終わり、ようやく学校生活にも慣れ、部活動を始めた矢先の今回の休校。
- ・ましてや1年生は9年前の小学校の入学式も、東日本大震災直後の慌ただしい時であったことを思うと、とても残忍でなりません。
- ・2年生については、1ヶ月以上振りに友達と再会し、新しいクラスにも慣れ、先輩としての自覚も芽生え始めたこの時期での休校となります。
- ・そして、3年生の心情を考えると話しにくいのですが、進路決定を目前に控え、これから本格的に進路活動を始めようとする矢先の休校。
- ・そして、県高校総体等の中止の発表に、残念という言葉をとおり超え、何とも表現しがたい絶望感や喪失感に苛まれていることと思います。
- ・全ての原因は、人の命をも奪うウイルス感染症。命を守るという観点からの様々な判断に、理屈では分かっている、心情的には到底納得できない思いがあるでしょう。
- ・本当ならこうだったはずなのに、という予定調和がこれほどまでに乱されることは、東日本大震災以来、経験したことがないほど、大きかったことでしょう。
- ・しかし、皆さんには、現実を受け止め、より良い高校生活を送るために、どうしたらよいかということ、しっかり考えてほしいと思います。

3 高校生活の目的について

- ・今回、皆さんの置かれているこの状況は、前例のない大きな課題であり、そこには正解はないので、今の状況を冷静に分析し、最も良い答えを導き出すことが大切です。
- ・そもそも高校生活の目的は、学習や部活動など、様々な活動を通して、自分を成長させ、生涯に渡り幸せに生きるために必要な力を養うことであり、その具体的な手立てとして、テストの成績や部活動の大会、資格の取得などがあると思います。
- ・明日からの臨時休業により、学習は教科からの課題や予習・復習が中心となります。ただ、毎年アンケート調査によると、家庭学習は光南生が苦手とするところです。
- ・このような非常事態ということ踏まえ、弱点である家庭学習にも積極的に取り組み、自分を成長させてほしいと思います。
- ・特に3年生については、大学入試改革の英語の外部試験も急に中止となるなど、突然の対応が続きますが、決して悲観することなく、今できることをしっかり行ってください。

- ・まずは、6月の前期中間考査の成績が、就職や学校推薦型選抜に直結しますので、課題や予習・復習に力を注いでください。
- ・次に、部活動についてです。県高校総体を目標としてきた生徒は、目標を変更しなければいけません。
- ・例えば、別の大会に焦点を絞るか、大会だけが部活動ではないので、後輩の指導やチームづくりに力を入れるなど、よく考えて新たな目標を見出す必要があります。
- ・当然、別の大会も開催できるか分かりませんが、今ある情報をもとに、一つ一つ冷静に目標を修正していくことで、より良い判断ができると思います。
- ・今は目標を失った悔しさを、誰のせいにもできず、辛さをぶつける先もなく、途方に暮れている生徒もいるかもしれません。また、今朝の緊急地震速報で、不安が高まった生徒もいるかもしれません。
- ・しかし、このような思いは、長い人生の中では、何度か経験することでしょう。人生には、挫折や困難がつきものです。その壁にぶち当たって、乗り越えることで、一回りも二回りも大きく成長し、同じ挫折や困難を乗り越えることができるようになります。
- ・逆に言えば、乗り越えられない課題はありません。
- ・高校時代から始まる青年期は、心理学的に自分探しの時期とも言われ、自分はどうあるべきかなど、誰もが悩み、苦しみながら、自分とは何かという、自己アイデンティティを確立し、子どもから大人に変わっていきます。
- ・この時期に迎える挫折や困難は、歳をとってから経験するものよりも、何倍も、何十倍も重く、辛く感じるでしょう。
- ・今は、様々なショックから立ち直れない生徒も多くいると思います。
- ・しかし、人生100年と言われる時代において、今の課題を乗り越えることで、これから先の人生を幸せに生きることができるようになります。
- ・当然、不安や悩みは尽きませんが、そんな時は誰かに相談してください。皆さんには、たくさんの味方がいます。友達や家族、光南高校が大好きな地域の方々、そして、もちろん私たち教職員も、皆さんの力になります。
- ・明日からの臨時休業期間、乱された予定調和を修正し、地に足をつけて、一つ一つ、コツコツと自分を成長させるために、努力してください。

4 光南生への期待について

- ・最後に、「疾風に勁草を知る」という言葉について、説明します。
- ・「疾風」とは、速く激しく吹く風のこと。「勁草」とは、風や雪に耐える強い草のこと。
- ・強い風が吹いたときに初めて、それに負けない強い草を見分けることができることから、困難や試練に直面したときに、初めてその人の意思の強さや信念の堅さ、人間としての値打ちが分かるということを意味します。
- ・実はこの言葉は、今から9年前に発生した東日本大震災の時に、様々な混乱の中で懸命に働く職員を励ますため、私の職場の上司が言った言葉です。
- ・目標や信念をもって働く私たち職員に、困難や試練に負けずに県民のために頑張ってもらいたいという、期待と励ましを込めて話してくれました。
- ・私は、光南高校で学ぶ生徒の皆さんが、新型コロナウイルス対策による様々な変更や制約に、混乱したり取り乱すことなく、疾風の中の勁草の如く、自分のやるべきことをしっかりと見極めて、正しい行動をしてくれると信じています。
- ・誰もが不安や悩み、絶望感や喪失感を感じる中、これからの長い人生を幸せに生きるため、自分の目標を見出してくれると信じています。
- ・決して投げやりになったりすることなく、この困難を乗り越えて、人間として成長してください。

5 休校中の過ごし方について

- ・この後、臨時休業中の過ごし方について、話をしてもらいます。
- ・感染拡大防止の観点から登校日は設けませんが、16日間の長い休業期間となるため、担任の先生などに、電話で皆さんの健康や学習、生活の状況を確認してもらいます。
- ・困ったことがあれば、その時に相談してもかまいませんし、いつでも遠慮なく学校に連絡してください。
- ・皆さんが、新型コロナウイルスに感染することなく、これからの高校生活の目標や、自分の生き方や在り方などについてしっかり考え、休業期間を有意義に過ごすことを願っています。
- ・5月7日に会いましょう。以上です。